

1 基本項目	事務事業名	体育施設管理事務				担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課	
	予算事業名	体育施設管理費					係名	スポーツ係	
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-23-1046	
	事業期間	開始年度	昭和32年	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計	
	総合計画	目標名	基本目標4. 人と文化を育むまち				総合計画 主な事業 記載あり(評価対象)	款	10教育費
		政策名	政策11. 豊かな心を育む文化とスポーツの振興					項	6保健体育費
		施策名	施策33. 生涯スポーツ・レクリエーションの振興					目	2体育施設費
		基本事業名	基本事業33-1. 生涯スポーツ・レクリエーションの推進					総合戦略との関連	関連なし
	根拠法令					集中プランとの関連	関連なし		
	アウトソーシング導入状況	アウトソーシング導入済(指定管理者制度)							

2 事業概要	事業概要	スポーツ施設の適正な維持管理、利用者サービスに努め、有効的な利用促進を図り、市民の健康増進及び誰もが気軽にスポーツに親しめる環境を整える。 1. 対象施設：天神山野球場、吉田グラウンド、総合体育館(温水プール、弓道場含む)、桃山運動公園 2. 指定管理者制度による維持管理、運営 H18.4.1から(公財)魚津市体育協会	
	対象	市民、管理施設(ありそ、天神山野球場、吉田グラウンド、総合体育館(温水プール、弓道場含む)、桃山運動公園)	
	手段(活動指標)	(公財)魚津市体育協会を指定管理者とし指定管理料を支払い、管理運営を委託した。また、施設の修繕(規模が大きく金額で300千円以上)等を行った。	
	意図(成果指標)	事業の対象となる施設の利用者数及び定期的にスポーツを行う市民の増加	

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度			R3年度
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画
活動	① 施設修繕(300千円以上)	件	3	3	4	6	150.0%	4
	② 指定管理委託料	円	190,039,000	180,540,000	193,561,000	193,561,000	100.0%	172,430,000
成果	① 週1回以上スポーツをする市民の割合	%	45.2	49.6	50.0	48.1	96.2%	50.0
	② 対象スポーツ施設の利用者数	人	214,936	479,319	500,000	221,634	44.3%	500,000

4 コスト情報	区分	単位	H30年度	R1年度	R2年度			R3年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	114,560,520	262,880,646	247,624,300	243,156,587	-7.5%	396,760,000
	① 国庫支出金	円		19,502,135				
	② 県支出金	円						
	③ 地方債	円						90,100,000
	④ その他(使用料、雑入等)	円	622,817	28,784,517	7,736,000	2,045,000	-92.9%	105,517,000
	⑤ 一般財源	円	113,937,703	214,593,994	239,888,300	241,111,587	12.4%	201,143,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	0.0%	2
	② 年間所要時間	時間	600	700	700	700	0.0%	700
	③ 人件費(②×@ 4,432円)(B)	円	2,659,200	3,102,400	3,102,400	3,102,400	0.0%	3,102,400
総費用(A+B)	円	117,219,720	265,983,046	250,726,700	246,258,987	-7.4%	399,862,400	

5 取組内容	令和2年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	魚津市体育施設及びありそドームについて、基本協定書・年度協定書に基づき指定管理料の支払い、及びありそ土地賃借料の支払い。 ・主な修繕工事(ありそドーム西側屋根漏水修繕、ありそドーム網戸設置工事、ありそ有線ネットワーク化工事)、桃山陸上競技場スタンド西側屋根漏水修繕・野球場スコアボード屋上防水修繕、野球場スコアボード設備選手名入力装置修繕、桃山運動公園高圧電源設備修繕) ・備品等購入(桃山陸上競技場、超音波風速計、棒高跳び用マット(toto助成)、2種公認用備品(砲丸等)、スポーツジムアクリル板、プロジェクター・ポータブルスクリーン、キャッシュ自動券売機(2台)) ・桃山陸上競技場2種更新 ・桃山野球場ラバーフェンス広告料収入 ・スポーツ施設長寿命化計画策定	

6 評価	評価の視点	R1評価	R2評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定	
	妥当性	A	A		特に問題なし	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である	② 目的の妥当性
有効性	B	B	有効性をさらに高めるため若干の改善が必要	③ 対象の妥当性	1 妥当である	① 目標達成度	2 目標どおり	
効率性	B	B	進め方等の改善が必要	② 類似事業の有無	1 なし	③ 上位施策への貢献度	2 普通	
1 次評価	結果(課長総括)	B	B	管理運営の進め方・内容について改善の余地あり	① コスト効率	2 普通	② 実施主体の適正化	1 適正である
	今後の方針	○現状を維持 ○事業の拡充 ○事業の縮小 ○統合等の検討 ○終了又は廃止・休止	方針の説明等	スポーツ施設長寿命化計画に従い、計画的な施設の維持管理が必要。施設の修繕については、施設管理者との情報交換が重要。toto助成(スポーツ振興くじ助成)の内容を確認し、できるだけ活用できないか検討し、活用して行くようにする。	2 次評価	不要	③ 負担割合の適正化	1 適正である

1 基本項目	事務事業名	東京オリンピック・パラリンピック関連事業				担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課	
	予算事業名	東京オリンピック・パラリンピック関連事業					係名	スポーツ係	
	事務区分	自治事務				電話番号	0765-23-1046		
	事業期間	開始年度	平成29年度	終了年度	令和2年度	予會計	一般会計		
	総合計画	目標名	基本目標4. 人と文化を育むまち				算科目	款	教育費
		政策名	政策11. 豊かな心を育む文化とスポーツの振興					項	保健体育費
		施策名	施策33. 生涯スポーツ・レクリエーションの振興					目	保健体育総務費
	基本事業名	基本事業33-1. 生涯スポーツ・レクリエーションの推進				総合計画主な事業	記載なし		
	根拠法令					総合戦略との関連	関連あり(評価対象)		
	アウトソーシング導入状況					集中プランとの関連	関連なし		

2 事業概要	事業概要	2020東京オリンピック・パラリンピックが開催されるにあたり、卓球競技、ボッチャ競技について、事前合宿を誘致することで、選手と市民の交流の深化を図りながら、生涯スポーツの振興、観光客誘致等につなげ、またオリンピック・パラリンピック種目の体験事業を行うことで、機運醸成を図り、生涯スポーツの振興を図る。併せて、オリンピック聖火リレー、パナリンピック採火式等の準備を行う。
	対象	市民、オリンピックでは卓球競技、パラリンピックではボッチャ競技の出場選手団、体験事業については小中学生をはじめとする市民
	手段(活動指標)	オリンピック組織委員会のホームページに魚津市のページを掲載。インバウンドで交流のある台湾やボッチャ銀メダリストの藤井友里子さん等を介しながら、海外選手団との交渉を行う。また、「ボッチャ体験会」等、オリンピック・パラリンピック種目を体験事業を行う。
	意図(成果指標)	東京オリンピック・パラリンピックそれぞれに出場する海外の選手団の合宿が行われ、選手団と市民との交流が図られる。また、体験事業により、東京オリンピック・パラリンピックへの機運醸成が図られ、スポーツへの関心が高まり、生涯スポーツに取り組む市民が増える。

3 指	活動指標名・成果指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度			R3年度
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画
標	① オリンピック組織委員会のホームページに魚津市のページが掲載された競技の数	件	2	2	2	2	100.0%	-
	② オリンピック・パラリンピック種目の体験事業実施回数	件	5	7	3	8	266.7%	3
	① 合宿を誘致できた国の数	件	0	0	1	13	1300.0%	-
	② 週1回以上スポーツをする市民の割合	%	45.2	49.6	50.0	48.1	96.2%	50.0

4 コスト情報	区分	単位	H30年度	R1年度	R2年度			R3年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	330,705	368,596	2,357,000	460,695	25.0%	9,772,000
	①国庫支出金	円						2,493,000
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円						
⑤一般財源	円	330,705	368,596	2,357,000	460,695	25.0%	7,279,000	
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	0.0%	2
	②年間所要時間	時間	150	150	150	150	0.0%	150
	③人件費(②×@ 4,432円)(B)	円	664,800	664,800	664,800	664,800	0.0%	664,800
総費用(A+B)	円	995,505	1,033,396	3,021,800	1,125,495	8.9%	10,436,800	

5 取組内容	令和2年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、ありそドームで開催を予定していた第22回日本ボッチャ選手権大会が中止となったが、日本ボッチャ協会の主催によるボッチャキャラバン活動を実施した。(10/30.31実施 230名参加) 共生社会ホストタウン事業(内閣府事業)を実施し、韓国をホストタウンの相手先の候補国として働きかけを行うが、誘致までには至っていない。本事業にて、バリアフリーマップを200部作成し、魚津駅周辺のホテルやありそドームや市役所等に配置した。 連携協定を締結しているパナソニック事業センターの協力のもと、パナソニックバンサーズのホーム公式ゲーム会場(大阪府枚方市)にて、商工観光課と連携し、観光PR活動を実施。 東京2020パラリンピックボッチャ競技に出場内定している藤井友里子選手の練習会場の冷暖房費を支援した。(スポンサーである㈱アイザックと折半)
--------	------------------------------	---

6 評価	評価の視点	R1評価	R2評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定
	妥当性	A	A		特に問題なし	①自治体関与の妥当性	
有効性	有効性	B	B	突発的要因あるいは目標値の設定見込が甘い	②目的の妥当性	1 妥当である	
					③対象の妥当性	1 妥当である	
					①目標達成度	3 低い・未実施	
効率性	効率性	B	B	進め方等の改善が必要	②類似事業の有無	1 なし	
					③上位施策への貢献度	1 高い	
					①コスト効率	2 普通	
結果(課長総括)	結果(課長総括)	B	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	②実施主体の適正化	1 適正である	
					③負担割合の適正化	1 適正である	
					2次評価	不要	
1次評価	今後の方針	現状を維持	方針の説明等	誘致に向けては、卓球競技、ボッチャ競技ともに市内外、及び海外へのPRのため、協会や県等との連携した活動が必要である。体験事業についても、民間や地域と連携し、様々な団体や学校等での体験会の開催に努めていく。	2次評価		
		事業の拡充					
		事業の縮小					
		統合等の検討					
		○終了又は廃止・休止					

1 基本項目	事務事業名	市民スポーツ推進事業				担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課		
	予算事業名	市民スポーツ推進事業					係名	スポーツ係		
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-23-1046		
	事業期間	開始年度	不明	終了年度	当面継続		会計	一般会計		
	総合計画	目標名	基本目標4. 人と文化を育むまち				予算科目	款	教育費	
		政策名	政策11. 豊かな心を育む文化とスポーツの振興					項	保健体育費	
		施策名	施策33. 生涯スポーツ・レクリエーションの振興					目	保健体育総務費	
		基本事業名	基本事業33-1. 生涯スポーツ・レクリエーションの推進					総合計画主な事業	記載あり(評価対象)	
	根拠法令						総合戦略との関連	関連なし		
	アウトソーシング導入状況						集中プランとの関連	関連なし		

2 事業概要	事業概要	市民の生涯スポーツの普及・推進を図るための取り組みを行う。 ①スポーツ推進審議会の開催②スポーツ推進委員を配置し、スポーツの実技指導や助言を行う。(UO!SPO事業等、スポーツレクリエーション事業の実施)③学校スポーツ施設の開放事業(施設管理を含む。)④登山道の整備、イベントの開催	
	対象	市民、施設等	
	手段(活動指標)	・生涯スポーツサポート事業開催数 ・学校スポーツ施設の開放施設数	
	意図(成果指標)	・週1回以上スポーツをする人の割合 ・学校スポーツ施設開放事業利用者数	

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度			R3年度
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画
活動	① 生涯スポーツサポート事業 (UO!SPO) 開催数	回	3	4	3	1	33.3%	3
	② 学校スポーツ施設の開放施設数	施設	20	18	18	18	100.0%	19
成果	① 週1回以上スポーツをする人の割合	%	45.2	49.6	50.0	48.1	96.2%	50.0
	② 学校スポーツ施設開放事業利用者数	人	36,467	36,425	38,000	26,428	69.5%	38,000

4 コスト情報	区分	単位	H30年度	R1年度	R2年度			R3年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	13,645,232	12,503,651	16,661,000	13,584,972	8.6%	11,092,000
	①国庫支出金	円						282,000
	②県支出金	円	276,000	282,000				
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円	192,076	216,438	512,000	402,242	85.8%	2,558,000
人件費	⑤一般財源	円	13,177,156	12,005,213	16,149,000	13,182,730	9.8%	8,252,000
	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	0.0%	3
	②年間所要時間	時間	2,220	2,220	2,220	2,220	0.0%	2,220
総費用	③人件費(②×@ 4,432円)(B)	円	9,839,040	9,839,040	9,839,040	9,839,040	0.0%	9,839,040
	費用(A+B)	円	23,484,272	22,342,691	26,500,040	23,424,012	4.8%	20,931,040

5 取組内容	令和2年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	・スポーツ推進委員協議会の運営補助 ・学校開放施設の管理・運営 ・登山道の整備委託、片貝山荘の運営 ・学校開放施設の令和3年度からの有料化への準備 条例及び規則の制定。各地区や各種団体への説明及び調整	
	改善点	スポーツ推進委員や開放指導員へのメール連絡網の整備。夜間開放施設の有料化に向けた準備(施設改修や施錠方法の変更(キーボックスの設置))	

6 評価	評価の視点	R1評価	R2評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定
	結果(課長総括)	B	A		① 自治体関与の妥当性	② 目的の妥当性	
1 次評価	妥当性	A	A	特に問題なし	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である	
	有効性	B	A	特に問題なし	② 目的の妥当性	1 妥当である	
	効率性	B	B	進め方等の改善が必要	③ 対象の妥当性	1 妥当である	
2 次評価	結果(課長総括)	B	A	計画どおり事業を実施することが適当	① 目標達成度	1 高い	
	今後の方針	○現状を維持 ○事業の拡充 ○事業の縮小 ○統合等の検討 ○終了又は廃止・休止	方針の説明等	事業内容は、生涯スポーツの振興に大変寄与しており、根幹事業であることから今後も継続して実施していくことが必要と思われる。旧小学校体育施設の運営・管理については、施設の管理条件を整えた上で、指定管理施設として進めていくことで効果的な運用が期待される。	② 類似事業の有無	1 なし	
					③ 上位施策への貢献度	1 高い	
					① コスト効率	2 普通	
					② 実施主体の適正化	1 適正である	
					③ 負担割合の適正化	1 適正である	
					不要		

1 基本項目	事務事業名	スポーツ選手等強化育成事業			担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課	
	予算事業名	スポーツ選手等強化育成事業				係名	スポーツ係	
	事務区分	自治事務				電話番号	0765-23-1046	
	事業期間	開始年度	不明	終了年度	当面継続	会計	一般会計	
	総合計画	目標名	基本目標4. 人と文化を育むまち				款	教育費
	計画	政策名	政策11. 豊かな心を育む文化とスポーツの振興			予算科目	項	保健体育費
		施策名	施策33. 生涯スポーツ・レクリエーションの振興				目	保健体育総務費
		基本事業名	基本事業33-2. 選手・指導者の育成と支援				総合計画主な事業	記載あり(評価対象)
		根拠法令					総合戦略との関連	関連なし
	アウトソーシング導入状況				集中プランとの関連	関連なし		

2 事業概要	事業概要	競技スポーツ選手のレベルの向上を図るための取り組みを行う。 ①全国大会等へ出場した選手及び監督に奨励金を支給。②桑山賞の授与。③ジュニア選手(スポ少)の強化育成、指導者講習の補助。④強豪選手・チームを招へいしてのスポーツ教室の開催支援
	対象	全国大会等へ出場した選手及び監督、スポ少等、競技スポーツ選手及び指導者
	手段(活動指標)	・スポーツクリニック等、教室開催数 ・指導者講習会等の開催数
	意図(成果指標)	・奨励金申請件数 ・全国大会(国民体育大会・全国高等学校総合体育大会・全国中学校体育大会)出場者数

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度			R3年度
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画
活動	① スポーツクリニック等、教室開催数	回	1	1	1	2	200.0%	2
	② 指導者講習会等の開催数	回	1	1	1	1	100.0%	1
成果	① 奨励金申請件数	件	261	239	250	43	17.2%	250
	② 全国大会出場者数	人	53	35	40	1	2.5%	40

4 コスト情報	区分	単位	H30年度	R1年度	R2年度			R3年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	1,932,180	16,677,880	4,686,000	1,624,036	-90.3%	4,335,000
	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円	54,492		89,000	18,511		158,000
	⑤一般財源	円	1,877,688	16,677,880	4,597,000	1,605,525	-90.4%	4,177,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	0.0%	3
	②年間所要時間	時間	1,000	1,000	1,000	1,000	0.0%	1,000
	③人件費(②×@ 4,432円)(B)	円	4,432,000	4,432,000	4,432,000	4,432,000	0.0%	4,432,000
総費用(A+B)	円	6,364,180	21,109,880	9,118,000	6,056,036	-71.3%	8,767,000	

5 取組内容	令和2年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<ul style="list-style-type: none"> ・全国・世界レベルの大会等へ出場した選手・監督に出場奨励金の支給。(コロナウイルス感染症拡大により縮小) ・桑山賞の授与(該当者なし) ・ジュニア選手強化育成、スポーツ指導者研修会の開催支援 ・トップレベルのチームを招へいしてのクリニックの開催(パナソニックパンサーズリモートバレーボールリモートクリニック開催(2回)) ・中学生の県大、北信越大会、全国大会出場に対する交通費等補助(富山県中学校スキー大会派遣補助) 	

6 評価	評価の視点	R1評価	R2評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定
	妥当性	B	A		特に問題なし	①自治体関与の妥当性	
有効性	A	A	特に問題なし	②目的の妥当性	1 妥当である		
効率性	A	B	進め方等の改善が必要	③対象の妥当性	1 妥当である		
				①目標達成度	1 高い		
				②類似事業の有無	1 なし		
結果(課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	③上位施策への貢献度	1 高い		
				①コスト効率	2 普通		
				②実施主体の適正化	1 適正である		
1次評価	今後の方針	○現状を維持 事業の拡充 事業の縮小 統合等の検討 終了又は廃止・休止	方針の説明等 全国大会等へ出場する選手たちへの日々の努力への報いと負担軽減、そして市のPRや他の選手への刺激にも寄与することから奨励金の制度は必要である。ジュニア育成に関しては、今後も体協と連携して、効果的な取り組みを行うが必要。トップレベルの選手からの指導はレベル向上に非常に効果が高いことから、今後も内容の充実に努める。	2次評価	③負担割合の適正化	1 適正である	
					不要		

1 基本項目	事務事業名	市民体育大会等開催支援事業				担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課	
	予算事業名	市民体育大会等開催支援事業					係名	スポーツ係	
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-23-1046	
	事業期間	開始年度	不明	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計	
	総合計画	目標名	基本目標4. 人と文化を育むまち				総合計画 主な事業 との関連	款	教育費
		政策名	政策11. 豊かな心を育む文化とスポーツの振興					項	保健体育費
		施策名	施策33. 生涯スポーツ・レクリエーションの振興					目	保健体育総務費
		基本事業名	基本事業33-2. 選手・指導者の育成と支援					記載あり(評価対象)	
	根拠法令					総合戦略との関連	関連なし		
	アウトソーシング導入状況	アウトソーシング導入済(業務委託)				集中プランとの関連	関連なし		

2 事業概要	事業概要	○市民体育大会夏季・冬季運営委託料の支払い○各種大会の補助を行う。①しんきろうマラソン大会助成②全日本大学女子野球大会助成③市民スポーツ奨励事業助成④北陸実業団陸上選手権大会助成⑤富山県青少年相撲選手権大会助成⑥TJAR(トランスジャパンアルプスレース)助成						
	対象	市民、大会等参加者、関係者						
	手段(活動指標)	・市民体育大会夏季・冬季運営委託料 ・各種団体補助金額						
	意図(成果指標)	・しんきろうマラソン参加者数 ・全日本大学女子野球大会チーム数						

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度			R3年度
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画
			活動	① 市民体育大会夏季・冬季運営委託料	円	2,500,000	1,790,000	1,950,000
	② 各種団体補助金額	円	7,080,000	5,889,638	5,975,000	423,000	7.1%	5,525,000
成果	① しんきろうマラソン参加者数	人	6,681	6,762	7,000	0	0.0%	7,000
	② 全日本大学女子野球大会チーム数	チーム	20	19	20	0	0.0%	20

4 コスト情報	区分	単位	H30年度	R1年度	R2年度			R3年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
			事業費合計 (A)	円	9,580,000	7,679,638	2,559,700	1,158,064
財源内訳	① 国庫支出金	円						
	② 県支出金	円						
	③ 地方債	円						
	④ その他(使用料、雑入等)	円						2,700,000
	⑤ 一般財源	円	9,580,000	7,679,638	2,559,700	1,158,064	-84.9%	2,825,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	0.0%	3
	② 年間所要時間	時間	980	980	980	980	0.0%	980
	③ 人件費(②×@ 4,432円)(B)	円	4,343,360	4,343,360	4,343,360	4,343,360	0.0%	4,343,360
総費用(A+B)	円	13,923,360	12,022,998	6,903,060	5,501,424	-54.2%	9,868,360	

5 取組内容	令和2年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等						
	<ul style="list-style-type: none"> ・市民体育大会実施競技数 7競技 ・しんきろうマラソン【中止】 ・全日本大学女子野球選手権大会【中止】 ・市民スポーツ奨励事業 ・北陸実業団陸上選手権大会→全日本実業団対抗駅伝競走大会北陸予選会等 ・富山県青少年相撲選手権大会【中止】 ・TJAR(トランスジャパンアルプスレース)【中止】 						

6 評価	評価の視点	R1評価	R2評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定
	妥当性	A	A		特に問題なし	① 自治体関与の妥当性	
有効性	B	A	特に問題なし	② 目的の妥当性	1 妥当である		
効率性	B	B	進め方等の改善が必要	③ 対象の妥当性	1 妥当である		
				① 目標達成度	1 高い		
				② 類似事業の有無	1 なし		
結果(課長総括)	B	A	計画どおり事業を実施することが適当	③ 上位施策への貢献度	1 高い		
				① コスト効率	2 普通		
				② 実施主体の適正化	1 適正である		
1 次評価	今後の方針	方針の説明等	市体育大会やマラソン、女子野球等、市全体の大きな大会には運営補助を行うことは適当である。しんきろうマラソンはtoto補助金の活用により単費を補う見込みができた。女子野球の単費を補う財源の確保が課題。	③ 負担割合の適正化	1 適正である		
				2 次評価	不要		